

## 第 13 回（仮称）矢吹町複合施設整備検討委員会議事録

平成 30 年 5 月 22 日（火）午後 6 時 00 分～

矢吹町文化センター小ホール

### 1 開会

### 2 委員長挨拶

半年ぶりになります。平成 29 年には月 1 回、会議を持たせて頂きました。今日は年度も替わりまして第 13 回になります。これまで各施設の実態、各委員が代表されている関係の皆様要望について取りまとめて、施設計画に盛り込むべき中身についてまとめてきました。その後、この半年間まとめ上げた内容を踏まえて事務局を中心に関係各課、意匠設計、構造設備・電気の技術的な設計者も加え、基本設計の検討をして参りました。構造、設備、エネルギー、木材の活用を含め、法的・コスト的な条件を現実に行える検討をしています。基本設計の取りまとめについて、意見を頂けたらと思います。建設に関しては、どういう内容のものをやるかを基本計画といいます。現実的な可能性の中で実現可能性のある姿を求めるという事で作業してきましたが、今日ご意見を頂き、実施設計の段階に移って今年いっぱい進めていくことになります。矢吹町が目指す施設造り、皆の思いを込めたものにしていけたらと思います。

### 3 議事

#### (1) 議事録署名人の選出

〇〇委員、〇〇委員にお願いしたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

#### (2) これまでの経過報告

（事務局説明）

委員長：聞き取り調査の中で出された意見で、現時点で実現が難しいものはありますか。実施設計で対応できると理解してよろしいでしょうか。

事務局：実施設計の中で検討可能なもので、現時点で実現不可というものはございません。

#### (3)（仮称）矢吹町複合施設基本設計（案）について

事務局：概算事業費について、基本計画書に示したとおり、約 16 億円で検討しております。概算事業費には用地費、測量設計費、工事費等を含めております。基本設計に基づきまして、現在概算設計費用を算出しております。その算出費用には構造コンセプト、木質化、開放的で明るい空間等を含めた内容で事業費を計画しております。現段階の概算事業費は若干であります。オーバーしている状況です。原因は、事業費を計画したのが 4 年前であったこと、人材不足による人件費が 10%～15%上昇していること、資材、燃料等の高騰により、概算事業費は 1 割程度オーバーしている状況です。当初基本計画の 16 億円は町民の皆さんに示し、約束した事業費ですので、事業費内でおさめたいと思います。今後設計を進める上で、いくつかの項目について削減項目として検討したいと考えております。削減項目については、町を代表する施設としておりますので、基本コンセプトである木質化、開放的な空間につきましても、事業費を抑える目的だけで削減できる項目では無いと考えております。建物に取り入れる部分、削減する部分をきちんと判断し、町民の皆様説明しながら、事業費については今後慎重に内容検討したいと考えておりますので宜しくお願いいたします。

委員長：先程構造について説明ありましたが、木の柱が立つ森の図書館というイメージでしょうか。

事務局：そうです。強度もあり、地震のときは鉄骨で押さえ、木造と鉄骨で役割分担しています。

委員長：構造は上から押さえるのと、水平の力に対して頑張る組み合わせで、木の柱は上からの力を支え、周りの鉄骨は上からの力も支えながら横の揺れに対しても頑張る構造。

事務局：それにより、特殊な木造の使い方はしなくてよいということです。

委員：13 ページのイメージで木をふんだんに使ったデザインで個人的には好きですが、1 区自治会館で外壁に木のルーバーを取り付けていますが、耐久・耐候性・耐火で構造上問題があるのではないかと指摘させていただきました。このデザインであれば申し分ないですが、木造では無く木質という概念では駄目でしょうか。後々メンテナンスが大変なイメージですが。

委員長：色が全部同じになっていますが、全部木では無いので、説明して頂けるとよいと思います。

設計者：外部に見えている 2 階までの長い柱は鉄骨になっております。奥に見えている細い角材はアルミサッシに化粧で取り付けているもので、こちらを本物の木のルーバーで行うか、木目調アルミ材で耐久性に優れているものにするか検討を進めております。

委員：アルミの方が金額は高いのでしょうか。

委員長：木目調と木を使うのでは設計の基本的な考え方が違うので、どちらでも良いというのは納得できません。

設計者：大きな庇が出て、直接雨がかからないような空間になっておりますので、本物の木を使ったとしても、劣化が早まる状況は考えにくいと思います。

委員長：設計者としてはどういう提案をしたいのでしょうか。その上でいろいろな判断があるかと思えます。

設計者：極力、本物の木を使った建物にしたいと考えておりますが、メンテナンスの費用、ランニングコストの費用を十分に検討する必要があるため、そちらも考慮して判断していきたいと思えます。

委員：内部については木をふんだんに使って欲しいという地元の要望が強いです。外壁については耐候性、耐火性。将来のメンテナンス等もあるので擬木がいいと言っているのが地域の多くの意見でした。中は木質でしょうか。

設計者：はい。

委員：現在は電柱が道路に立っていますが、図面には書かれていませんが、地中化でしょうか。であれば素晴らしいです。

事務局：現在、電柱が残されている状況ですが、あれは東北電力の電柱です。こちらにつきましては、移転の協議を進めておりますが、複合施設の北側に移設する協議を進めておりますので地中化は現在検討しておりません。

委員：北側だと、陰になり素晴らしいです。ありがとうございます。

委員：土地の性質として、地盤の工夫等について特性があるのでしょうか。建物の内部も含めてどのような工夫をされているのでしょうか。全体の高さはどの位なののでしょうか。教えてください。

委員長：地震に対する地盤の捉え方、構造、強さ、高さの問題について設計者の方からお願いします。

事務局：地盤につきましては、強いところと弱いところが混ざっていました。7m程度の浅いところで比較的安定したところがありまして、そこに載せたいと思います。載せ方は地盤改良を使います。セメントと土を混ぜて固めたやり方で、2階建てですので十分地震には対応できると考えておりますが、安定した地盤がまんべんなくあるかどうか、追加調査をしたいということで町に伝えてあります。きちんと調べて地盤を固めて建物を建てることを考えております。安全性については、通常の建物の1.25倍確保しております。最近では立体的に建物をモデル化して動きを確認します。詳しい設計の解析をしたうえで、今回の提案をしました。構造的な部分で今回、特殊な方法を使わないでできる木造と鉄骨を配置しました。建物の高さについては、立面計画で一部寸法を入れております12.178m、計画段階でおよその高さで進めております。

委員長：法的に高さは決まっているのでしょうか。

事務局：鉄骨と木造のハイブリット構造ということで、木造の法規制がかかる建物となっております。木造は高さが13mを超えてしまうと耐火建築物要求となり、より火に強い構造にする必要がありますので、13m以内で抑えたいと考えております。

委員：13mは屋根の高さまでですか。

事務局：棟の高さです。

委員：街並み景観としてどのようなコンセプトで考えたのか教えてください。また、私の希望ですが、奥州街道から見た限り、真四角な感じに見え、現代的な建物に見える感じがするので、奥州街道側に切妻的なものを出し、和を取り入れ、和洋折衷でも良いですが、将来の街並みを考えたときにマッチしたもので考えられないでしょうか。

事務局：切妻屋根、勾配屋根に関しましては、奥州街道側、屋台蔵の上部に小さな庇等を設け、少しでも片勾配の屋根の和テイストを取り入れるような工夫は今後考えたいと思います。また、目線の高さに小さな庇を設け、瓦等を使うことにより、矢吹の街並みに馴染むような景観形成ができるのではないかと考えております。

委員：外観の関連で、奥州街道側の屋台蔵と入口の中間に、斜めに壁が付いていますが、ダサい感じがする。昔の体育館のような、旧飛行場格納庫の補助材のような感じに私は見えてしまいます。違和感があるデザイン。南向きは素敵なのですが、奥州街道から見たときに、斜めの壁に違和感がある。街並みにマッチしない気がします。冷暖房はしっかりした能力を持っていますか。補助的にFFストーブを各部屋に置くようなことにはならないですね。

事務局：空調関係について、全体的にヒートポンプエアコンを採用しようと考えております。今回添付はしておりませんが、居室、事務室、多目的ホール等、区切られた空間について夏場は温度を下げる設定、冬場は上げる設定。オープン的に使われるスペースは、長時間滞在することもあると思いますが、通常は通路的な使い方が多いということで夏場は温度を上げる設定、冬場は下げる設定という形になります。エアコンに関しては寒冷地対応として、マイナス15度までは暖房として対応できる物の使用を設定しています。寒くて居られないということはありません。

委員：入口に入ったときに、吹き抜けなので暖かい空気が上に行ってしまうことも踏まえているということでしょうか。

事務局：吹き抜けに関しては、隠れたサーキュレーターを付けるか実施設計で検討します。冬場は暖かい空気は上に上がりますので、空気を戻す形で考えております。

委員：予算も考慮して頂いて、後から寒くて機械を導入しなくてはならないようにお願いします。各部屋は温度調整出来るようになるのでしょうか。

事務局：温度調整は各部屋で出来るようになっております。一般家庭のエアコンとは違いますが、大きい機械を入れて各部屋に各機械を入れ、各部屋個別に運転も出来ます。事務室で空調を一括管理できるので、消し忘れもありません。

委員：デザインでお願いですが、屋台蔵の北側倉庫が全部ドアだと違和感があるので、格子の引戸は無理でしょうか。物の出し入れのときに戸を外して出し入れをする

ので、ご配慮をお願いします。ドアを閉めるときに、ドアの部分の厚みが邪魔になりますので。正面の出入り口は可能な限り和風の引戸で格子にしてもらえると雰囲気引き立つと思います。

委員：図書館の読み聞かせコーナーの形と、防音になっているのかどうかと、図書館での子供たちの賑わいが見えるようにという説明がありましたが、読み聞かせコーナー自体、どのような考えで作ろうとしているのでしょうか。今は読み聞かせはだいたい団体利用に対して職員が行うのですが、親子で個人的に来たときに読み聞かせするようなところなののでしょうか。

委員長：図書館については、今はレイアウトが何も書いてありません。今おっしゃったことも踏まえて中身をどうしていくかを実施設計の段階で協議して頂けたらと思います。その中で読み聞かせコーナーの実態、あるいはこうしたいという事をお伝えいただいて設計者に対応して頂く。

委員：出来れば、カーペットであれば人数が入ると思いますし、子供たちは荷物を脇に置けると思います。

委員長：この段階の話としては、エントランスホールから図書館の様子が見えるのを大事にしたいという提案は、各部をどのように作りこむかを別の課題として捉えていただければと思います。

委員：奥州街道の景観を将来的にどうするか、我々のまちづくり会で考えようという段階に入ってきました。正面から見たときに、ひさしの部分を、1m程度下がっても結構ですが、切妻的なものを採用できないでしょうか。屋台蔵の倉庫ドアも木風の物にして頂きたい。斜めの壁を格子的なものに出来ないか。エントランス屋根の部分が1mほど出ているように見えますが、そこに瓦を付けて現代風のものではなく、和に近い物にして頂けると。また、設備のコストで地中熱利用を今回は見送るとのことでしたが、太陽光については、売電も今の金額のままかわからないので、検討して行く必要があると思います。

委員長：街並みに対して、どのような考え方でデザインをしているか地域、町民の方々に説明性があるようにデザインをお願いしたい。奥州街道の街並みを作って行く一つの基点となるような役割が果たせるようにというのが皆さんのご意見だったと思いますので、ご検討をお願いします。設計者の方からコメントありましたらお願いします。

設計者：今回のような大きな建物の切妻の勾配は大きいお寺のようになってしまいますので、大きい屋根は出来るだけ細くして、下から見上げたときに小さい窓、垂木、勾配屋根などの工夫はして行きたいと思います。街並みの考えですが、個人的には過去と現在と未来があることが大事ではないかと思います。

委員長：皆さんで煮詰めていけたらと思います。

委員：前回と床面積は変わらないのでしょうか。増えているような気がするのですが。部屋の数を説明して頂きたい。西側と東側で、西側のレベルが低いですが、どのくらいの差があるのでしょうか。裏側が 2,700mm の余裕がありますが、北側にスロープを付けているという事は、建物の裏側も出入りするということでしょうか。裏側はテラスしか出入口がありませんが、そこからの出入りも考えるのでしょうか。それとも閉ざしてしまうのでしょうか。2階多目的ホール上にキャットウォークがありますが、設備スペースに上がっていく階段がないということは、点検、工事が必要な際には、アトリエを通り、キャットウォークを抜けて設備スペースへ行くのでしょうか。これでよいのでしょうか。太陽光関係は全量売電ですか。使って残った物を売るのはではなく。

委員長：実施設計で対応できる物は対応いただいて、基本設計段階でこの場で確認いただいた方がよいことについて、お話いただいたらとおもいます。

設計者：子育て部分の面積は基本計画時 85 m<sup>2</sup>で計画したが、今回は約 98 m<sup>2</sup>です。

委員長：なぜ増えたのでしょうか。要望があつて増えたのでしょうか。

設計者：授乳室等の要望があり、10 m<sup>2</sup>程増加となっております。

委員：全体の面積は。

設計者：基本計画時が 2,800 m<sup>2</sup>、基本設計時が 2,986 m<sup>2</sup>です。基本計画時は建物内部の床面積。基本設計時は建築基準法上の面積で、屋外空間でも屋内で使うところは参入しています。基本計画時と同じ算定方法ですと、基本設計では 2,753 m<sup>2</sup>です。レベル差は、700～800mmの差です。北側通路は現在人が通れるようにしておりますが、実施設計で詳細は進めて行きたいと思います。多目的ホール上のキャットウォークに関しても、実施設計で検討して参りたいと思います。太陽光に関

しては、現計画では20kw/hで、あくまでも建物内部での消費で考えております。全体的に高圧ですので全体で160kw/hと考えており自己消費。休館日や人が居ないときにどうするかは電力の方との協議になると思います。小さい容量であれば受け入れる場合もありますが、必ずしも買い取るという訳では無いので。20キロであれば建物内で消費できると考えています。

委員：発電したものは建物内で使うということですね。キュービクルで高圧を受けているのであれば、使って残った物を売るとなると、高圧にして売りたいという縛りがあると思いますが、そうすると相当な金額がかかると思います。全量売電であれば低圧のまま売れますが、それが受けられないのですね。

事務局：高圧で入ってきて、変圧器の2次側に繋がりますのでキュービクル全体で20kw/hを受けます。全体だと160kw/hですので20kw/h引いた140kw/hしか使ってない状況になります。20kw/h入ってきても使わないので変圧器から通して戻る。協議して売電するかしないか検討します。

委員長：お金の計算で建設費、ランニングコスト、維持管理の計算をして頂いて、比べると何もしない方が良いとことになってくる。平成26年に閣議決定された基本計画では、新しく作る公共建築物は平成32年までに0エネルギービルディングにする方針が出ています。新しく建物を造る者の責任が問われています。お金はもちろん、矢吹町復興の状況を考えなければならないのは承知ですが、比較すべきは今度の計画によってCO<sub>2</sub>が通常に比べどれだけ削減できるかのデータと建設費、コストの目標について。皆で考えて行く課題として意識できればと思います。

委員：事務局が全体事業費1割ほどオーバーしており、エネルギーの部分に関して比較検討するという事はやらないということですよ。矢吹町でも地球温暖化対策を行政として設置しました。国から示されたCO<sub>2</sub>削減を数値的に示して行くことになると思います。もともとの計画でエコの計画も盛り込んで作ってきたのに、議会でも何もやらないのかと言われました。この件は事業費オーバーもありますが、金目だけではない考え方で説明できるかが重要。実施設計までには、専門家側から町に提案して頂きたい。

委員：施設から出たゴミはどこに置くのでしょうか。持って帰るのでしょうか。

委員長：大変重要ですので、実施設計で話していけたらと思います。



委員：ことぶき大学の方々は、自分の物は自分で持ち帰ればゴミは溜まらないという意見です。ゴミ箱があると入れる風習になってしまいます。

委員長：今のことも含めて設計者側が提案して頂けたらと思います。

委員：雪が降った際に、ひさしの加減で西南ひさしに雪や雨は当たりますか。雪対策はどのように考えていますか。

事務局：雪対策は屋根に雪止めを設置します。さらに庇により雪を受け止め落下させないような工夫をしています。また電熱線を入れて雪を落としたり、氷柱を防止する方法もあります。その場合は落とすところの安全性を確保し、落下地点には砂利を敷いたりして排水処置を行います。

委員：1階ほどの場所からもすぐ避難できますが、2階階段の広さ等は消防法上、大丈夫なのでしょうか。

事務局：避難階段が2つ。法的には満足しています。2階に小さなお子さんが滞在すると思いますので、計画によってはより安全に避難できるような配慮は必要かと思えます。

委員長：皆さんの要望に対しては実施設計で今日の課題、要望に対して検討して頂いて説明頂きたいと思えます。

委員：道路事情で西側交差点の優先順位をはっきり分かるよう、事故にならないように、警察署と相談してください。また、道路拡幅により違法駐車がありますので、警察に相談したら、駐車禁止の看板がないので良いと言われました。近隣の方の為に事故が起こらないようにお願いします。

委員長：町の安全安心を高めて行く役割があると思えますので、まちづくりの機会としていけたらと思えます。委員の皆様より、それぞれのお立場でご意見をいただきましたが、詳細は実施設計で検討するという事で、基本設計については当委員会で概ね了承するという事でよろしいでしょうか。

委員：(了承する)